

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校評価書 【学校力向上プラン】

中学校区におけるめざす子ども像	自らを律し、自ら学び続ける子	堺市立 八下中学校 校 長 笠谷 直美
令和7年度 重点目標		
「生徒、保護者、地域の『信頼に応える』魅力ある学校づくりの推進」 (1)学力向上 (2)不登校生対応 (3)特別支援教育 を3本柱に教育活動を推進する		
「確かな学び」の現状 ・全体的に、生徒は落ちついた学校生活を送り、静謐な環境で学びに向かっているが、一部生徒が集中できない時もある。 ・「学力向上」は喫緊の課題であり、研修を充実させ授業改善を図る。令和6年度のチャレンジテスト結果において、前年度より改善傾向にあるが、学年や教科によっては課題が見られた。 ・習熟度別指導や、学力定位層の放課後学習などを充実させる。		「豊かな心・健やかな体」の現状 校区が1小学校1中学校であり、人間関係が固定的になる傾向がある。そのことに起因する要素もあり、不登校傾向の生徒もみられる。 誰一人取り残さない学びを推進し、不登校生の居場所を確保のためステップルームを設定して、学びの場を保障する。 また、各種行事への取組を充実させ、成功体験を積み重ね、達成感を味わわせることで自尊感情 を高める。 家庭・地域との連携を図り、健康的な生活習慣の確立をめざす。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)		達成状況(年度末)			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎学力の向上	学習内容の定着と学習習慣の確立	●基礎学力の定着を図り、各種調査での下位層の生徒の割合を減らす。	各調査での正答率20点未満の生徒の割合を大阪府の平均以下にする。	・全国学力調査等の調査結果	年度末						
			生徒が自主的に計画を立て、家庭で復習や課題に取り組むための家庭学習支援	各種アンケート調査での肯定的回答が70%以上、	・堺市学調 ・堺市学習・生活状況調査 ・学校教育アンケート							
	授業改善	生徒が主体的に考える授業を展開し、思考力・判断力・表現力を育成する	授業において、意見を交流したり自分の考えを発表したりする機会を設定する。	各種アンケート調査での肯定的回答が70%以上、	・全国学力調査 ・堺市学習・生活状況調査							
			数学科の少人数指導を充実させ、きめ細かい指導により言語活動を展開する。	・各調査結果で大阪府平均以上 ・「数学の授業がよくわかる」の肯定的回答が85%以上	・全国学力調査 ・堺市学習・生活状況調査							
			生徒用端末を活用した主体的な学習を展開し、問題発見力・課題解決力を育成する。	堺市学習・生活状況調査において肯定的回答が80%以上	・堺市学習・生活状況調査							
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	規範意識を育み、他者と協力してよりよく生きるための力の育成	道徳の授業を充実させ、生徒の規範意識の向上を図る	各種調査での肯定的回答が90%以上	・堺市学調 ・堺市学習・生活状況調査	年度末						
			生徒が主体的に計画し、協力して取り組むことができる行事の設定	各種調査での肯定的回答が90%以上								
			成功体験を積み重ね、生徒の自己肯定感を高める	各種調査での肯定的回答が80%以上	・学校教育アンケート							
	生活習慣の改善	基本的生活習慣の確立	「家での7つのやくそく」を基本にして、生徒が安全や健康について考える機会を充実させる	・生徒会・衛生委員会の啓発 ・各種調査での肯定的回答が85%以上	・堺市学習・生活状況調査 ・学校教育アンケート	年度末						
			誰一人取り残さない学びを推進し、ステップルームを開設する。	年間欠席30日以上を減少させる	不登校調査							
地域連携	小中連携・地域協働	幼小中一貫した指導体制の充実	1小1中の強みを生かした小中連携の推進	各種アンケート調査での肯定的回答が80%以上	学校教育アンケート	年度末						
		地域・家庭への情報発信との協働体制の充実	HPや「八下TIMES」を通じて教育活動の現状や成果を発信。地域や家庭と協力した取組を進める。	ホームページへのアクセス数 各種調査70%以上、	学校教育アンケート							

校長より(年度末)・	学校関係者評価者から(年度末)
------------	-----------------